

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	ロボット・プロジェクトⅢ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室
担当教員	吉田 研一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作や学外実務研修と連携しながら、提携先等の課題やそこから派生した卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
ロボットプロジェクトは、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・制作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			
第2回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			
第3回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			
第4回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			
第5回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第7回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	パワーポイント	発表用資料の準備
		各コマに おける 授業予定	テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第8回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	パワーポイント	発表用資料の準備
		各コマに おける 授業予定	テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第9回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第10回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第11回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第12回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第13回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第14回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第15回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、 テキストを使用しての調 査と論文講読
		各コマに おける 授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	ロボット・プロジェクトⅢ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室
担当教員	吉田 研一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作や学外実務研修と連携しながら、提携先等の課題やそこから派生した卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
ロボットプロジェクトは、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第17回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第18回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第19回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用した調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			
第20回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用した調査と論文講読	
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第22回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第23回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第24回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第25回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第26回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、自ら見出したまたは与えられた課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用しての調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	課題の検討、対策立案、調査と報告・相談、指導		
第27回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	中間報告会		
第28回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	中間報告会		
第29回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。		
第30回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	ロボット・プロジェクトⅢ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室
担当教員	吉田 研一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作や学外実務研修と連携しながら、提携先等の課題やそこから派生した卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
ロボットプロジェクトは、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・制作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。			
第32回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。			
第33回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。			
第34回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。			
第35回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談して指導を行う。			



2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	ロボット・プロジェクトⅢ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室
担当教員	吉田 研一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作や学外実務研修と連携しながら、提携先等の課題やそこから派生した卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う						
1 提出物、発表内容:35%						
2 授業態度、姿勢:35%						
3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
ロボットプロジェクトは、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考、制作物の作成ができる 個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	講義 実習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。 学科内報告会	パワーポイント	報告会用発表準備	
第48回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。 学科内報告会	パワーポイント	報告会用発表準備	
	講義 実習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	学科内報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。 個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、課題の検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
第50回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	学科内報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。 個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	

